


例3：オンプレミス / 1000ユーザー / 20TB / 2000万ファイル / HA・バックアップ機能使用

マスターサーバー

**メモリ**  
CPUスレッド数×2 推奨



**CPU (コア・スレッド)**  
使用する機能ごとにスレッド数を加算



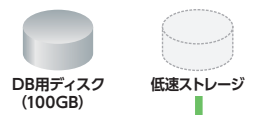
- ・OSその他 ..... +2スレッド
- ・仮想ドライブ ..... +4スレッド
- ・ティアリング ..... +2スレッド
- ・フォルダクォータ ..... +2スレッド
- ・バックアップ ..... +2スレッド
- ・レプリケーション ..... +2スレッド

インスタンス1

**仮想ドライブ (Vドライブ)**  
・DB用ディスク、最速ディスクはSSDを強く推奨  
・最速ディスクに入らないデータはNASに入るよう設定



**バックアップドライブ**  
・DB用ディスクはSSDを推奨  
・バックアップデータはすべてNASへ

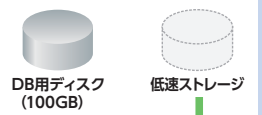


インスタンス2 (構成はインスタンス1に準じる)

**仮想ドライブ (Wドライブ)**



**バックアップドライブ**  
・タイムマシーン機能の利用を前提として容量は大きめに



- ・帯域制御なしを推奨
- ・100Mbps以上推奨




レプリカサーバー

**メモリ**  
CPUスレッド数×2 推奨



**CPU (コア・スレッド)**  
HAでの切り替えを前提として、マスターサーバーと同数とする。切り替えをしない前提では使用する機能ごとにスレッド数を加算



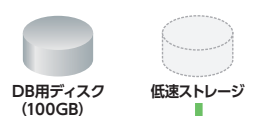
- ・OSその他 ..... +2スレッド
- ・仮想ドライブ ..... +2スレッド
- ・ティアリング ..... +2スレッド
- ・バックアップ ..... +2スレッド
- ・レプリケーション ..... +2スレッド

インスタンス1

**レプリカドライブ (マスターVドライブのレプリカ)**  
・DB用ディスク、最速ディスクはSSDを強く推奨  
・最速ディスクに入らないデータはNASに入るよう設定



**バックアップドライブ**  
・DB用ディスクはSSDを推奨  
・バックアップデータはすべてNASへ

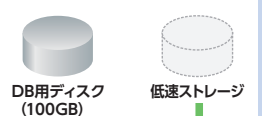


インスタンス2 (構成はインスタンス1に準じる)

**レプリカドライブ (マスターWドライブのレプリカ)**



**バックアップドライブ**  
・DB用ディスクはSSDを推奨  
・バックアップデータはすべてNASへ



## 例3：オンプレミス / 1000ユーザー / 20TB / 2000万ファイル / HA・バックアップ機能使用

### 構成全体 (利用想定)

- ・最大1000ユーザーまで、全体容量20TB程度、総計2000万ファイルを想定
- ・VVAULTのインスタンスを2つ使用する (1サーバー上に2つの仮想ドライブ)
- ・インスタンス毎に最大500ユーザー、10TB、1000万ファイルを想定
- ・レプリケーション・HA機能の使用を想定
- ・マスターサーバー、レプリカサーバー共にオンプレミスを想定  
例) マスターを本社、レプリカを支社 or DCに配置
- ・バックアップ、タイムマシーン機能 (31日分のアーカイブ保持) の使用を想定

### ネットワーク関係

#### マスターサーバー・レプリカサーバー間

- ・100Mbps (全二重) 推奨、帯域制限なしを推奨

#### 各サーバー・NAS間

- ・仮想ドライブ (共有フォルダ) へのアクセスを妨げないよう、各サーバー・NAS間は専用NW (裏LAN) を組むことを推奨

### マスターサーバー

#### CPU

- ・全機能を使用する場合、14コア・14スレッド以上を推奨
- ・Intel Xeon 2.5GHz以上、Hyper Threadingの使用は推奨しない
- ・個別にスレッド数 (コア数) を調整する場合は、以下を参考にして算出

OSその他・・・+2スレッドが必要

仮想ドライブ・・・+4スレッド (インスタンスあたり+2)

ティアリング・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

フォルダクォータ・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

バックアップ (タイムマシーン)・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

レプリケーション・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

(参考) クラウドストレージ利用・・・+2スレッド (本構成では不要)

#### メモリ

- ・推奨は28GB (CPUスレッド数x2)
- ・必須は14GB (CPUスレッド数x1)

#### 仮想ドライブ (インスタンス1、2とも共通の条件)

##### [ディスク周りHW全般]

- ・RAIDカードはライトバック (ライトキャッシュ) 機能を有するものを強く推奨
- ・各ディスクのRAIDレベルは1、5、6のいずれかを推奨

##### [データベース用ディスク]

- ・100GB以上、サーバー内蔵SSDを強く推奨
- ・他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを強く推奨

##### [最速ディスク]

- ・1TB以上、サーバー内蔵SSDを強く推奨
- ・他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- ・内蔵ディスクではなくNASの使用を想定、容量は実容量10TB
- ・速度および安定性のため、NASへは専用NWでの接続とすることを推奨

#### バックアップドライブ (インスタンス1、2とも共通の条件)

##### [データベース用ディスク]

- ・100GB以上、サーバー内蔵SSDを推奨
- ・他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- ・バックアップはすべてNASに入れることを想定、容量は実容量12TB以上
- ・タイムマシーン機能 (アーカイブ) 31日分を想定し、仮想ドライブのNASより2TB以上大きめの容量とする。ファイルの追加・更新が頻繁な場合、およびアーカイブの保存期間が長い場合はこれ以上のサイズが必要な可能性あり

### レプリカサーバー

#### CPU

- ・HAでの切り替えを前提として、マスターサーバーと同じ14コア・14スレッド以上を推奨
- ・HAでの切り替え後の運用を想定せず、個別にコア数を調整する場合は以下を参考にして算出

OSその他・・・+2スレッドが必要

仮想ドライブ・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

ティアリング・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

バックアップ (タイムマシーン)・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

レプリケーション・・・+2スレッド (インスタンスあたり+1)

(参考) クラウドストレージ利用・・・+2スレッド (本構成では不要)

#### メモリ

- ・CPU同様、マスターサーバーと同じ28GBとすることを推奨
- ・調整する場合には、推奨はCPUスレッド数x2、必須はCPUスレッド数x1

#### レプリカドライブ (インスタンス1、2とも共通の条件)

##### [ディスク周りHW全般]

- ・HAを想定し、マスターサーバーと同一スペックとすることを推奨

##### [データベース用ディスク]

- ・100GB以上、サーバー内蔵SSDを強く推奨 (HA未使用の場合は最低SAS接続HDD)
- ・他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを強く推奨

##### [最速ディスク]

- ・1TB以上、サーバー内蔵SSDを強く推奨 (HA未使用の場合は最低SAS接続HDD)
- ・他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- ・内蔵ディスクではなくNASの使用を想定、容量は実容量10TB
- ・速度および安定性のため、NASへは専用NWでの接続とすることを推奨

#### バックアップドライブ (インスタンス1、2とも共通の条件)

##### [データベース用ディスク]

- ・100GB以上、サーバー内蔵SSDを推奨
- ・他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- ・バックアップはすべてNASに入れることを想定、容量は実容量12TB以上
- ・タイムマシーン機能 (アーカイブ) 31日分を想定し、仮想ドライブのNASより2TB以上大きめの容量とする。ファイルの追加・更新が頻繁な場合、およびアーカイブの保存期間が長い場合はこれ以上のサイズが必要な可能性あり

### その他

#### 低速ストレージ用NAS

- ・インスタンス1・2間での共用は可能
- ・その場合、仮想ドライブ用20TB、バックアップドライブ用24TBがそれぞれ必要
- ・仮想ドライブ・バックアップドライブ間での共用は行わないこと
- ・マスターサーバー・レプリカサーバー間での共用は行わないこと